

立命館生存学研究

vol.4

— 目次 —

特集1 有馬斉著『死ぬ権利はあるか——安楽死、尊厳死、自殺幫助の是非と命の価値』合評会	
序文	安部 彰 …… 3
患者の生命短縮をめぐる議論において、カント主義は貫徹可能か ——有馬斉『死ぬ権利はあるか——安楽死、尊厳死、自殺幫助の 是非と命の価値』へのコメント	由井 秀樹 …… 5
人間の生命の価値について ——有馬斉著『死ぬ権利はあるか』 (春風社、2019年)をめぐる	堀田 義太郎 …… 11
由井秀樹氏、堀田義太郎氏による書評への応答	有馬 斉 …… 21
特集2 『日本気象行政史の研究』から生存をめぐる制度について考える	
特集趣旨	渡辺 克典 …… 31
組織に関する質問 ——『日本気象行政史の研究』を読んで	伊東 香純 …… 33
天気を予測する「知」をめぐる	塩野 麻子 …… 39
インタビューデータの「公開性」「非公開性」 ——「客観性」をめぐる議論から	平安名 萌恵 …… 45
書評への応答 ——合評会での質疑応答の補足を兼ねて——	若林 悠 …… 49
書評：若林悠『日本気象行政史の研究——天気予報における官僚制と 社会』東京大学出版会、2019年	川端 美季 …… 55
特集3 国際シンポジウム「共有できない平和／争いが移動する」	
「共有できない平和／争いが移動する」(“Unshareable Peace (s) / Conflicts in Motion”)という問題設定	美馬 達哉 …… 57
入植と離散と文学サークル運動 ——境界地域としての北海道東部、玉井裕志と山田洋次の出会い	番匠 健一 …… 61
沈黙する発話、情動する身体 ——ルワンダに生き残る暴力の記憶と痛みへの想像力	近藤 有希子 …… 77
コメント・質疑応答	天野 尚樹 …… 99
『無情』戦時下における国策宣伝映画『国民道場』を再演する (『無情』(2019)のシングルチャンネル版(23分)上映)	藤井 光 …… 103
多和田葉子と方法としての翻訳： 脱構築と「ポスト人種」の問い	ブレット・ド・バリー …… 111
移動している辺境	孫 歌 …… 125
コメント・全体討論	原 佑介 …… 131
あいちトリエンナーレ2019『表現の不自由展・その後』 騒動について	後山 剛毅 …… 145
執筆者紹介	147
『立命館生存学研究』公募論文投稿規程	149

